

すこやか河内

河内地域学校園だより vol. 006 2012/3/9

題字：河内中3年 清水里咲

～ 小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します。～

☆ モデル地域学校園としての3年間を振り返って

@ すこやか河内学校園長より



すこやか河内学校園，次のステージへ！



平成 24 年 3 月

小中一貫教育地域学校園モデル校の認定を平成 21 年 5 月に受けてから，早 3 年が過ぎようとしています。今振り返るとあっという間の 3 年間でした。本学校園では，既存行事や活動の活用を図るなどして「無駄なく無理なく」進めることや，6 モデル地域学校園の中で一番小さな学校園であるという特色を生かして「全教職員による協同」で取り組むことなどの運営方針の下，研究を進めてきました。

モデル校としての実践を通して一番の成果は，何といても小中学校教職員間の連携が深まったことでしょうか。それは，職員数が少ない学校園であることはもちろんですが，教職員の交流の場を計画的に設定したことが成果につながったものと思います。学校園内の全ての教職員がいずれかの部会に所属し，毎月定期的に各部会の研修会を開催しました。小中学校の教職員が顔を突き合わせて話し合いを行い，共に活動しました。小中教員による相互乗り入れ授業においても，国語，算数・数学，英会話の 3 教科の他に，社会や理科，音楽などの教科でも相互乗り入れ授業を実施し，他の地域学校園よりも多くの教員が参画しました。こうした交流により，小中学校間の敷居が低くなり，風通しもよくなりました。

小中学校教職員間の連携に伴い，各学校の児童生徒の状況を教職員が共有できるようになったことも大きな成果です。中学校の教員からは，入学予定の児童の様子が早めに分かるなど児童理解が深まりました。小学校の教職員からは，相互乗り入れ授業や朝のあいさつ運動，交流活動等を通して，卒業生たちの成長の様子を見ることができるとともに，小学校の段階で指導すべき事項も分かってきました。同時に，小学生にとっては，中学校の教職員の顔や雰囲気分かるようになり，中学校への不安の軽減につながりました。

平成 24 年度からは全市一斉に小中一貫教育が実施されますが，本学校園では，これまでのモデル校としての経験を生かし，歩みは遅くても着実に小中一貫教育を進めていきたいと思えます。次年度は，「すこやか河内学校園」にとって，新たなステージの始まりとなります。保護者の皆様や地域の皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。あいさついたします。



◎ 3年間の小中一貫教育を振り返って

小中一貫教育の大きな目的は、「中一ギャップの解消」と「学力保障」です。これらのことに関して、モデル地域学校園としての取組の総括として、平成24年2月中旬に、小学校6年生と中学校1年生にアンケートを行いました。

○小学校6年生に

① 進学を不安に思っていましたか。

(1) とても不安	16%
(2) 少し不安	50%
(3) あまり不安でない	23%
(4) 全く不安でない	11%

② 今、進学を不安に思いますか。

(1) とても不安	13%
(2) 少し不安	35%
(3) あまり不安でない	39%
(4) 全く不安でない	13%

③ 進学で不安なことは何ですか。

(複数回答可)

(1) 勉強が難しくなる	79%
(2) 教科担任制	24%
(3) 部活動	51%
(4) どんな先生がいるか	29%
(5) どんな先輩がいるか	65%
(6) 友人関係やいじめのこと	45%
(7) 中学校の校則	39%
(8) 1日の生活のこと	43%

④ 小中一貫教育の取組で、不安は変わりましたか。

(1) 減った	16%
(2) 少し減った	37%
(3) 変わらない	47%
(4) 少し増えた	0%
(5) 増えた	0%

⑤ 不安を減らした取組は何ですか。

(複数回答可)

(1) 相互乗り入れ授業	41%
(2) あいさつ運動	8%
(3) クリーン活動	21%
(4) 運動会での交流	11%
(5) 中学校説明会	71%

○中学校1年生に

① 昨年度の小中一貫教育の取組で、進学への不安はどう変わりましたか。

(1) 減った 19% (2) 少し減った 37% (3) 変わらない 43% (4) 少し増えた 0% (5) 増えた 1%

② 不安軽減に役立った取組は何ですか。

(複数回答可)

(1) 相互乗り入れ授業	60%
(2) あいさつ運動	13%
(3) クリーン活動	24%
(4) 運動会での交流	18%
(5) 中学校説明会	47%

③ 中学校入学後に困ったと思ったことは何ですか。

(複数回答可)

(1) 勉強が難しくなった	86%
(2) 教科担任制	12%
(3) 部活動	15%
(4) 先生との人間関係	12%
(5) 先輩との人間関係	5%
(6) 友人関係やいじめのこと	2%
(7) 校則のこと	41%
(8) 中学校の生活になじめないこと	20%

④ 相互乗り入れ授業は役に立ちましたか。

(1) 役に立った	25%
(2) 少し役に立った	44%
(3) どちらでもない	25%
(4) あまり役に立たなかった	6%
(5) 役に立たなかった	0%

⑤ 小学校の先生による授業は、どのように役立ちましたか。

(複数回答可)

(1) 昨年の担任の先生に会えて安心した	25%
(2) 小学校の先生の授業は、丁寧でわかりやすかった	54%
(3) 小学校で学んだことを思い出すことができた	77%
(4) 授業中にそばに来て、個別に教えてもらった	4%
(5) 授業が楽しく、やる気が出た	25%
(6) その他	

・小学校の応用が、中学校での勉強だということがわかった

小学校6年生には主に「中一ギャップ」に関する内容を、中学校1年生には「学力」に関する内容も加えて質問しました。

結果から、相互乗り入れ授業や中学校説明会が、中学校進学に対する不安の軽減に寄与していることがうかがえます。今年度は小学校教員による中学校への相互乗り入れ授業において、小学校における既習事項の確認を積極的に取り入れましたが、そのことが生徒にはプラスになったようです。

この結果を小中の教員が共有し、来年度の取組に生かしていきたいと思えます。

◎ 小中相互乗り入れ授業

- (1) 中学校 菊地教諭 (12/20 岡本西小 2/22 岡本小 英会話)
- (2) 岡本西小学校 長谷川教諭 (1/12 河内中 国語)
- (3) 中学校 伊藤教諭 (1/17 岡本西小 1/27 岡本小 算数)
- (4) 岡本西小学校 富川教諭 (1/31 河内中 英語)
- (5) 岡本小学校 山中教諭 (2/8 河内中 社会)
- (6) 中学校 荻原教諭 (3/8 岡本小 国語)

- ・ 小学校でどの程度の英語を教えているかがわかり、中学1年生の英語学習の課題がより明確になった。(菊地)
- ・ 学習だけでなく、学校内の様子や生徒指導など、生徒と教員との関わりなども見る事ができ、小学校での学習指導や児童指導の参考となる事が多かった。(長谷川)
- ・ 小学校教員に中学校での英語の授業の学習内容や授業展開についての知識があると、「英会話の時間」の活動内容にも工夫や配慮ができると思うので、交流や研修等を活用して勉強していきたい。(富川)
- ・ 小学校社会科の基礎・基本をベースに、中学校社会科が進められることを改めて感じた。(山中)



◎ 広がる「すこやか河内学校園」の小中一貫教育

○特別支援学級合同学習

☆ 音楽会 ☆

1月16日(月)特別支援学級の3校合同学習会が行われました。前半は音楽室にてピアノコンサートを行い、「エリーゼのために」「トルコマーチ」「トトロ」などの演奏を聞きました。どの子も行儀良く耳を傾け、曲が終わると大きな拍手をしてくれました。

後半は多目的室にてグループ別になり、コップに水を入れての音階作りをしました。部屋中さまざまな高さの音でいっぱいになりました。難しい作業

かと思われましたが、小学生は終始笑顔で、中学生は小学生をよくまとめ優しくリードしていました。最後には各班で曲を発表しました。

音楽での合同学習は初めての試みでしたが、とても良い経験になったと思います。今後も様々な工夫を加えながら、子ども達のつながりを深めていきたいと思います。

◎ 久しぶりに小学生の皆と交流出来たので、

とても楽しかったです。(中学2年)



☆ 雪遊び ☆

2月7日(火)、特別支援学級合同校外学習が実施されました。小中学校3校で、なす高原自然の家へバスで行き、雪あそびを楽しみました。中学生がリーダーシップをとり、各グループでかまくらや雪だるまを作ったり、ソリ遊びを楽しんだり、児童生徒の交流を深めることができました。

【小学生の感想】

「中学生がやさしくしてくれたので、嬉しかった。来年また一緒に行きたいな。」(1年)

「中学生や岡本小のみんなと友だちになれて楽しかったな。」(2年)

「中学生と一緒に、雪だるまやかまくらを作ったよ。いっしょに遊んでくれて楽しかったです。」(3年)

「中学生のあいさつを見て、とてもしっかりしていました。」

来年は、ほくも中学生になるのでがんばります！(6年)

◎ 行事交流の様子

○学校説明会

岡本小学校

1月17日(火)に中学校説明会があり、河内中学校と古里中学校から、生徒会の役員と教員が来校しました。中学校ごとに分かれ、教育目標や生活・学校行事・学習の様子・家庭学習・部活動・生徒会活動等について、写真等を使って説明してくれました。6年生が心配していることや中学校のことでよく分からないこと等への質問にも、分かりやすく楽しく答えてくれました。中学校へ進学するにあたり不安に思っていたことが、随分解消したようです。

【6年生の感想】

とても分かりやすい説明をしてくださいました。もうすぐ中学生という実感もわいてきました。初めはとても緊張したけれど、やさしそうな先輩だったのでほっとしました。早く中学校へ行きたいなと思いました。

中学校のことは不安なことだらけでとても心配していましたが、色々なことをていねいに教えていただき安心しました。友だちの多くは河内中へ行ってしまうので、古里中でもいっぱい友だちをつくりたいと思います。

【6年生担任から】

中学校について知りたい内容を事前にアンケート調査し、6年生が知りたい内容を中心に説明してくださったので、子どもたちの不安は随分解消されたと思います。今後も、小学校と中学校とが連携・協力し合って、進学前の6年生のために中学校説明会を開いていくことが大切だと感じました。

岡本西小学校



残りわずかな小学校生活になり、中学校進学への不安が大きかったです。先輩から直接聞く言葉には大変説得力がありました。児童はみんな、規則・部活動・学習内容のことなどを神妙な面持ちで聞いていました。「小学校は6階建鉄筋コンクリートのビル。その上に3階建のビルを建て増しするのだから、土台をしっかりと(学習・生活)しておくこと。」という、出井先生のお話が印象的でした。

生徒会役員

説明会の概要 出井先生

6年生は3月14日(水)に河内中・古里中へ出向き、他の小学校の友達と一緒に中学校の先生の授業を体験し、部活動見学も行う予定です。

希望と夢を抱いて中学校へ進学し、中学校生活をスムーズにスタートさせることができるよう、今後も小中一貫教育を推進していきたいと考えています。

